

中期経営5ヶ年計画や CSR経営についての意見交換、 経営課題の認識を共有する

当社グループでは、社長が年2回各支店をまわり、「社長巡回会議」を開催しています。会議の目的は、独占禁止法違反に関してコンプライアンスの徹底、労働環境改善など全社で取り組むべき課題について説明を行い、第一線の現場まで方向性を合わせるとともに、CSR経営について活発な意見交換を行うことです。

従業員一人ひとりが会社に求められている課題を理解し、毎日の業務の中で今年度の取り組みが最先端まで浸透、促進できるようにしています。

今年も5月に全国10支店で実施され、多くの所属長、役職員、グループ会社社長が参加しました。会議後半にはフリーディスカッションも行われ、課題の具体的な解決策について活発な議論が行われました。



中国支店
広島営業所
所長 細田 武志

社長巡回会議では当社を取り巻く環境が刻一刻と変化している中、「進んで自分を変えてプラス思考で環境に適応した者のみが生き残れる時代となる」とのお話があり、前例に囚われずに本質を見極めて積極果敢に行動を起こすことが重要であると強く感じました。また、決してトップダウンに終始することなく、ボトムアップを図る良い機会となりました。最終目標として社員自身の人生が豊かで楽しいものにするためにどうするのかを共に考える場として大変有意義な時間となりました。



北関東支店での社長巡回会議

今回は特に労働環境・職場環境の改善、若手育成のための教育などについて、特に時間をかけてミーティングが実施されました。多岐にわたる活発な議論を通じて経営課題の認識を共有し、それぞれの職員が抱える悩みの解決にも役立つなど貴重な会議となりました。



北関東支店
埼玉中央営業所
所長 長谷部 兼一

久松社長より、時代の変化に敏感に反応し倫理意識を持って行動をする様、お言葉をいただきました。社員一人ひとりが間違った行動をとることが無い様、リーダーシップを取っていかねばならないと強く感じました。また、創意工夫を凝らし更なる意識改革のもと、所属員一同邁進していく決意です。



北関東サンロード(株)
社長 森 育久

社長巡回会議では、今日本道路グループが置かれている状況や建設関連会社の今後の役割についてのお話がありました。建設関連会社は地方に根付き、日本道路グループにおいても重要な立場になると認識しました。私は当地宇都宮には3回目の勤務となり、地域密着の営業を行い今後は磐石な体制を築きたいと思えます。